

コーデックス60周年記念イベント～国際食品安全の今後10年先を見据えて～

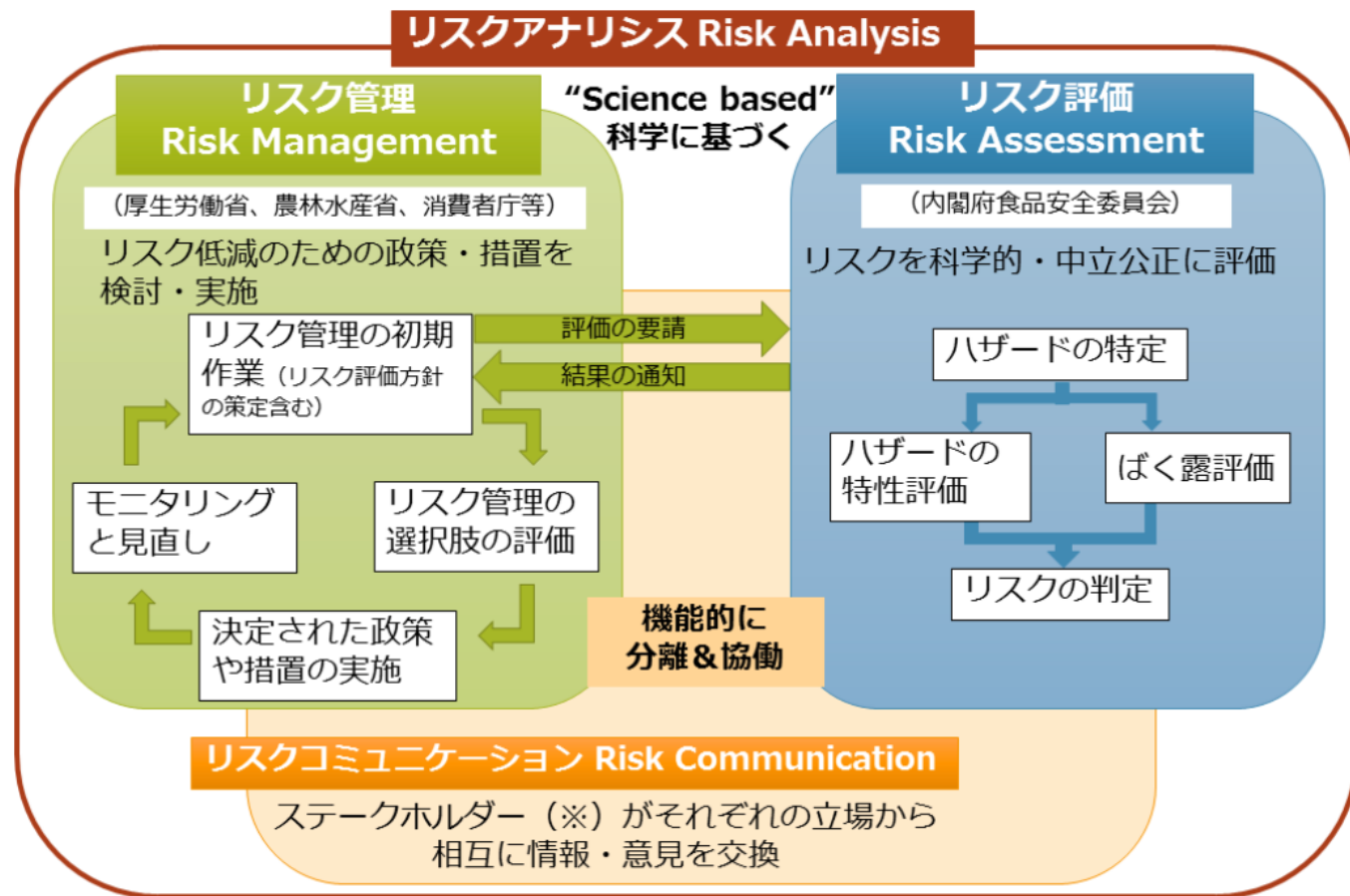
食品安全委員会の20年とこれから

リスク評価・リスクコミュニケーション

科学ジャーナリスト、内閣府食品安全委員会委員 松永 和紀

2023年7月24日

リスクアナリシス (食品安全委員会用語集より <http://www.fsc.go.jp/yougoshu.html>)



(Food safety risk analysis A guide for national food safety authorities (WHO/FAO 2006) 等を基に作成)

※ステークホルダー

関与者、利害関係者のこと。一般市民（消費者、消費者団体）、行政（リスク管理機関、リスク評価機関）、メディア、事業者（一次生産者、製造業者、流通業者、業界団体など）、専門家（研究者、研究・教育機関、医療機関など）といった者が該当する。ステークホルダーは、食品安全の各段階においてそれぞれの立場でそれぞれの役割を果たす

食品安全委員会の構成

食品安全委員会は7名の委員、200名以上の専門委員からなる専門調査会及びワーキンググループで構成され、科学的な知見を基にリスク評価を行います。

食品安全委員会

委員長：山本 茂貴・・・微生物学

委員：浅野 哲・・・毒性学

委員：川西 徹・・・化学物質（代謝・動態）

委員：脇 昌子・・・公衆衛生学

委員：香西 みどり・・・消費者意識・消費行動（調理科学）

委員：松永 和紀・・・リスクコミュニケーション

委員：吉田 充・・・食品の生産・流通（生物有機化学）

専門調査会

- 企画等
- 添加物
- 農薬第一
- 農薬第二
- 農薬第三
- 農薬第四
- 農薬第五
- 動物用医薬品
- 器具・容器包装
- 汚染物質等
- 微生物・ウイルス
- プリオン
- かび毒・自然毒等
- 遺伝子組換え食品等
- 新開発食品
- 肥料・飼料等

ワーキンググループ

- 栄養成分関連添加物WG
- 香料WG
- 薬剤耐性菌に関するWG
- 評価技術企画WG
- ぶどう酒の製造に用いる添加物に関するWG
- 有機フッ素化合物（PFAS）WG

食品安全委員会の食品健康影響評価の対象

- リスク管理機関からの要請
- 自ら評価

有害微生物等

- 腸管出血性大腸菌O157
- カンピロバクター
- リステリア
- サルモネラ
- ノロウイルス
- 肝炎ウイルス
- 異常プリオンタンパク質

等

環境からの化学物質

- カドミウム
- メチル水銀
- ダイオキシン
- ヒ素
- 放射性物質

等

加工中に生成される化学物質

- アクリルアミド
- クロロプロパノール

等

物理的危険要因

- 異物混入
- 物性（餅等）

等

自然毒

- きのこと毒
- ふぐ毒
- かび毒
- シガテラ毒

等

意図的に使用される物質に由来するもの

- 農薬や動物用医薬品の残留
- 食品添加物
- 器具・容器包装からの溶出

等

その他 （新しい食べ方・技術など）

- いわゆる健康食品、サプリメント
- 遺伝子組換え技術を利用した食品

等

2003年－2022年の食品健康影響評価 (2022年12月31日現在)

区分	諮問案件		自ら評価
	要請件数	評価終了	評価終了
添加物	209	301	
栄養成分添加物	2	2	
香料	7	7	
農薬	1375	1211	
動物用医薬品	660	636	
器具・容器包装	21	20	
汚染物質等	68	67	4
微生物・ウイルス	21	21	2
プリオン	67	59	14
かび毒・自然毒	9	9	5
遺伝子組換え食品等	371	353	
新開発食品	91	91	3
肥料・飼料等	316	288	
薬剤耐性菌	72	61	2
ワーキンググループ、その他	6	6	3
合計	3395	3132	33

2023年9月1日（金）、20周年国際シンポジウム開催

（三田共用会議所）

国際機関、諸外国の政府機関関係者を招聘し議論し、今後のリスク評価やリスクコミュニケーションの課題を探る

第1部 リスク評価が今後直面する新たな課題

- 海外における培養肉（Cultured meat、Cell-based meatなど）等のリスク評価
- EUにおけるhorizon scanning

第2部 新たな評価手法の導入

- OECDによるIntegrated Approaches to Testing and Assessment（IATA）の推進
- 新たな評価手法開発の背景と活用
- New Approach Methods（NAMs）の日本のリスク評価への導入

第3部 将来に向けたリスク評価機関の体制整備

リスクコミュニケーション

リスクアナリシスの全過程において、リスクやリスクに関連する要因などについて、一般市民（消費者、消費者団体）、行政（リスク管理機関、リスク評価機関）、メディア、事業者（一次生産者、製造業者、流通業者、業界団体など）、専門家（研究者、研究・教育機関、医療機関など）といった関係者（ステークホルダー）がそれぞれの立場から相互に情報や意見を交換すること

リスクコミュニケーションを行うことで、検討すべきリスクの特性やその影響に関する知識を深め、その過程で関係者間の相互理解を深め、信頼を構築し、リスク管理やリスク評価を有効に機能させることができる

リスクコミュニケーションの目的は、「対話・共考・協働」（engagement）の活動であり、説得ではない。これは、国民が、ものごとの決定に関係者として関わるべきという考えによるものである

出典：食品安全委員会用語集

松永 個人的補足

- 公正性、透明性、双方向性
- 科学者による「科学的な情報を市民に提供し納得してもらう」という啓蒙主義の姿勢は、失敗を招く
- 科学・制度をしっかりと理解し考えてもらうためにも、「心」を大切にしたい


食品安全委員会
 内閣府 Food Safety Commission of Japan

[English Page](#) 文字の大きさ **標準** 大きく

[食品安全委員会\(FSC\)とは About FSCJ \(in Japanese\)](#) |
 [会議開催予定と委員会の実績 Meetings \(in Japanese\)](#) |
 [食品健康影響評価\(リスク評価\) Risk Assessment \(in Japanese\)](#) |
 [意見・情報の交換\(リスクコミュニケーション\) Risk Communication \(in Japanese\)](#)

採用情報

トピックス

[食品安全委員会広報誌「食品安全」第60号を公開しました](#) |
 [「粉ミルク中のクロノバクター・サカザキについて\(Q&A\)」を公開しました](#)




[「お母さんになるあなたと周りの人たちへ-妊娠の前から気をつけたい食べ物のこと-」を公開しました](#) |
 [食中毒予防に向けたパンフレット等に使える「食品安全関係素材集」を公開しました](#)




食品安全委員会 食品安全委員会は7月に創立20周年を迎えました
 特集ページはこちら

最新の食品健康影響評価 (リスク評価) [> これまでの食品健康影響評価](#)

2023/07/12 [農薬「プロチオホス」に係る食品健康影響評価を公表しました](#)

2023/07/12 [動物用医薬品「ヒドロコルチゾン」に係る食品健康影響評価を公表しました](#)

2023/07/06 [農薬「アモリタチン」の食品健康影響評価に係る食品健康影響評価を公表しました](#)

クイックアクセス

[各専門調査会等の情報](#)
開催案内、開催実績、評価指針、委員名簿等

[食品安全情報マップ](#)

[食品安全情報のデータベース検索](#)
国際機関等から収集した情報、会議資料、安全ダイヤルへの問い合わせ、食品安全委員会が実施した研究・調査事業などを検索

[評価書・QA等一覧 \(50音順\)](#)

[食品ハザード情報ハブ](#)
食品ハザードごとに関係省庁の関連する公表情報のリンクを集結

[解説集](#)
食品安全委員会が発表した解説文等をハザード分類別に整理

[用語集](#)

[世界の情報](#)
世界の関係機関が発信する食品安全情報

[食品安全関係素材集](#)
電顕写真、殺菌データの図表などの素材集

[委託研究・調査事業等](#)

<https://www.fsc.go.jp>

評価書を公表

議論を公開(企業の知的財産権に不利益をもたらす場合等は会議は非公開。あとで議事録を公開)

食の安全ダイヤルQ&Aなども

専門用語を説明

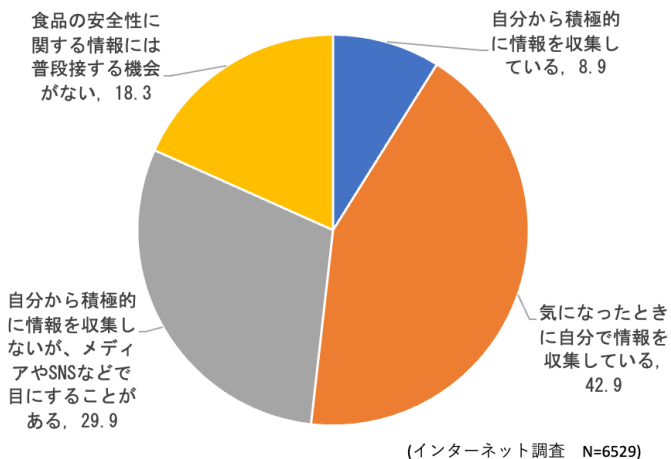
海外の情報を翻訳掲載

SNSでも情報発信
 (@FSCJ_PR、@user-px2zp7dq6o、cao.fscj)

食品安全委員会が行うリスクコミュニケーションに関する意識調査報告書（2020年度）

<https://www.fsc.go.jp/fscii/survey/show/cho20210030001>

あなたは、食品の安全性について、日頃積極的に情報を収集していますか（％）



食品安全に関する情報源（インターネット調査、N=6529）

食品安全委員会が行うリスクコミュニケーションに関する意識調査報告書（2020年度）

